

ヒマワリ栽培始める

富士宮高校会議所と小学生

富士宮高校会議所はこのほど、オリジナルのリサイクル堆肥「マスマス元肥(げんぴ)」を活用して耕作放棄地を再生するSDGs実践として、このほど外神のどがみえん・とがみえん北児童クラブの小学生と一緒に、ヒマワリの種まきをして栽培を始めた。

同クラブ近くの畑を使い、4年目になる活動。開花時にヒマワリの景観や迷路遊びなどの交流を楽しんだ上で、種を収穫してヒマワリ油を作り、新たな特産品の開発につなげる。



ヒマワリの種まきで栽培と交流をスタート(写真提供)

れてしまうものから作ったマスマス元肥を活用し、使われていな

い耕作放棄地を畑に戻して、新たな特産品を生み出す活動。楽しみ

ながら持続可能な社会づくりをしていこう」と呼び掛けた。

